



新病院完成を記念して

院長 西 英 明

松井事業管理者のご勇退に伴い、本年4月1日から、新病院長に就任致しました。大谷新事業管理者と協力しながら、この新しい雲南市立病院を、これからの未来に向けて、全力で運営してまいります。

さて私は、2年前の2017年9月に、当院に赴任いたしました。赴任した当初は、まだ新本館棟が建設途中で、外観が現れたばかりの頃でした。私がこの雲南市立病院という新天地に、慣れ親しんでいくのと、時期を同じくして、新病院も完成に向けて、建設が進み、いよいよこの10月にグランド・オープン致します。たった2年しか、この雲南市立病院に勤めていない私でも、現在の新病院を見ると、隔世の感があります。ましてや長年当院へ勤務された方々、また長年この雲南市立病院を見守ってこられた方々の、新病院への感慨深さは、計り知れないものと推察致します。改めて、これからの雲南市立病院を担う者の一人として、本年4月と同様に、身の引き締まる思いが致します。

この新病院のグランド・オープンにより、当病院の新病院建設計画が完成いたします。駐車場が整備され、新病棟が完成したことで、患者さまの受診環境、療養環境が、前病院に比べ、格段に改善されます。また病院スタッフの診療環境も、新しい建物となり、機能的で、動きやすく、清潔で働きやすい環境となっています。新病院は、診療面、療養面ともに充実した、設備と機能を有していると自負しております。

また昨年3月に先行オープンした新本館棟は、最先端の免震構造であり、大規模災害にも十分対応できる建物となっています。災害時には、被災者の避難場所となり、病院機能を持った災害拠点となります。この新雲南市立病院は、医療、災害対策において、雲南市および周辺の地域住民の方々の安心・安全な生活に貢献できると確信しております。

この新雲南市立病院の完成が、雲南市およびその周辺の方々、また病院職員の皆様の、希望、明るい未来へとつながる事を祈念しております。

最後になりましたが、新病院の建設計画から建設、完成まで携わってこられた方々、特に本年3月末で退任されました、松井前事業管理者、秦前副事業管理者に深謝致しまして、記念誌冒頭のご挨拶とさせていただきます。